

一級淀川水系 古川 広域河川改修事業・床上浸水対策特別緊急事業

[久御山町・宇治市・城陽市]

古川と支川の井川では近年、度々、浸水被害が発生しており、平成24年8月14日京都府南部地域を襲った豪雨により古川上流部に位置する城陽市域では床上浸水159戸、床下浸水387戸が発生し、再度災害防止のため河川改修の推進による治水安全度の向上が強く望まれています。このため、床上浸水対策特別緊急事業により、早期に洪水被害の軽減を図ります。また、古川の国道24号交差部下流や支川の井川についても、浸水被害の軽減を図るため河川改修を進めます。

○事業概要

全体計画	H27までの実績	H28計画
古川床上浸水対策特別緊急事業 L=900m 事業期間:H26～概ね5年間 C=3,640百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工、用地物件補償	C=1,410百万円 事業概要 用地物件補償、護岸工	C=1,200百万円 事業概要 用地物件補償、護岸工、橋梁工
古川広域河川改修事業 L=8,500m (井川3,160m、名木川1,840m) 事業期間:S60～ C=40,001百万円 事業概要 掘削工、築堤工、護岸工、橋梁工、用地買収	C=29,479百万円 事業概要 掘削工、築堤工、護岸工、橋梁工、用地買収	C=304百万円 事業概要 掘削工、護岸工、橋梁工 浸水想定区域図の作成

○当該年度の事業予定

古川本川は、河道の掘削工、護岸工、橋梁工、用地物件補償等を進め、井川については、サイフォンの移設等、古川本川の進捗状況に合わせた改修を進め、浸水被害の軽減を図ります。

